

教育目標

対象者のために自己研鑽できる臨床家の育成

ディプロマポリシー (DP)

- 【情意面】臨床場面において求められる個人の資質とチームワークの基盤をなす協調性を持つ
- 【知識面】国家試験出題基準に則った理解力・解釈力および原理知識と技術面の統合力を持つ
- 【技術面】代表的な疾患について、ある程度の助言のもと基本的なプログラムを安全に遂行できる

カリキュラムポリシー (CP)

1. 基礎分野科目において論理的な思考、対象者理解の基礎を学習するとともに、段階的実習を設け対人スキル・医療人としての資質を育成する。
授業及び科目外活動においてグループワークを活用し、愛他的精神及び協調性を養う。
2. 医療職の土台であるヒトの身体づくり、仕組み、動きなど必要な基礎知識を習得し、疾病との関わりを探究できる主体的な学習態度を育成する。
3. 専門分野では、生活機能に即した評価及び治療学を学び、演習・実習を通じて科学的な思考を育成し、代表的な疾患の基本的プログラムを理解する。
4. 知識・技術の統合として臨床実習を位置づけ、医療人としての基本的態度の実践及び治療計画立案を経験する。その後、代表的な疾患の知識・技術の統合を深める科目を設定し国家試験合格に向けた個別指導による達成度のフィードバックを行う。

1年次 ●基礎分野 ●専門基礎分野

～医療人としての土台の構築～

- 社会人としての基本的マナーを身につける。
- 仲間と協力し、努力する態度を身につける。
- 科学的思考の基礎教養を身につける。
- 人間の身体の構造と機能の知識を習得する。

2年次 ●専門基礎分野 ●専門分野

- 医療人としてのコミュニケーション能力を身につける。
- 代表的な疾病の基本知識と基本的プログラムを理解する。
- 基本的評価技術を身につける。

3年次 ●専門分野 ●国家試験

- 医療人としての基本的態度を実践する。
- 国家試験合格に向け、これまで履修した知識と技術を統合する。

アドミッションポリシー

1. 人とのかかわりが好きで、思いやりのある人
2. 社会のルールやモラルを遵守できる人
3. 理学療法士・作業療法士への志のある人